

登録No.
 登録名
 催吐性リスク
 適応疾患
 投与スケジュール

S-119
 dose-dence Paclitaxel療法
 軽度
 乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン マレイン酸クロルフェニラミン 生食	20mg/body 16.5mg/body 5mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	ペグフィルグラスチム併用
Rp.2	パクリタキセル 生食	175mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	3hr	粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.3	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	パクリタキセルフラッシュ用

1クールの間
 その他（副作用・PS規定等）

2週間

PS : 0-1
 パクリタキセル投与前H₂blocker、デキサメタゾン、マレイン酸クロルフェニラミン投与
 副作用：骨髄抑制、下痢・便秘、末梢神経障害、心毒性、爪障害、脱毛など
 パクリタキセル初回投与時、心電図モニター
 メンブランフィルター（0.22 μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与。
 ※ペグフィルグラスチム併用（パクリタキセル施行後、24時間以降72時間以内）